



学校だより

# えげのやま

笑顔 元気 やる気 真心



平成24年9月

広島市立矢野南小学校

TEL 888-6811

FAX 888-6822

ホームページ <http://www.yamominami.c.edu.city.hiroshimaa.jp>

41日間の夏休みが盛りだくさんの成果を上げ、無事終わりを告げました。3日間のサマースクールで学習や水泳に真剣にチャレンジできた子、矢野サマーフェスティバルで運動会の「はねこ」を町内に笑顔で発信できた子、もっと上達したくて水泳のトライステーションにトライできた子、広島市水泳記録会に挑戦して自分の記録を懸命に塗り替えることができた子、炎天下伸び放題の草木を汗だくで環境整備できた子、みんな来ん祭ではパワフルでひとときわ目立つ踊りを披露できた子、翌朝5時から目立たない後片付けに汗を流すことができた子、その他にも地域内外で、自分への挑戦や人の役に立つ仕事を買って出た「南っ子」が大勢いたことを本当にうれしく思います。

また、67回目の「原爆の日」を迎えた8月6日の登校日。黙とうの後、ライブで市内の小学6年生が朗読する『平和への誓い』を聴き、『はだしのゲンが伝えたいこと』を見て、「平和をつくるために自分にできること」を考えました。「終戦の日」を迎えた8月15日には原爆と川をテーマにした作品を市民の集いで朗読した「南っ子」ボランティアもいました。「ヒロシマ」に育ち、「ピースアンドクリエイト」で造られた市内唯一の小学校に集う私たちの責務を果たしていくためにも、自他の命と心を尊重する教育を進めていく必要性を再認識した夏休みでした。

今日から約1か月間は、前期の仕上げをしていくとても大切な時期になります。矢野南の保護者や地域の皆様と学び合い、一人ひとりのきらめくような可能性を見つけ伸ばしていきたいと思っています。

学校長 佛圓 弘修

## 民生懇談会(7/30)

民生委員・児童委員の皆様にご集まりいただき、登下校時や放課後、夏休み中の児童の様子について情報交換の場を持ちました。

- ・よい大人の対応が子どもにやる気・勇気を与えることを実感した。今後は、学校や家庭、地域で児童の自尊感情を高めることを常に意識していく必要がある。
- ・命を大切にすることを教えていかなければならない。
- ・子どもの思いを受けとめられる先生でいてほしい。
- ・挨拶の大切さを教えていきたい。
- ・ルールを守り登下校することが大切 など貴重なご意見いただきました。



学校や家庭や地域がまずは、それぞれの役割をしっかりと認識し、連携を図っていくことが大切であるということを再確認する貴重な時間となりました。

## 学校保健委員会(8/27)

学校医、学校薬剤師の先生方、PTA 役員の方に参加いただき、学校保健委員会を開催しました。健康教育、体力づくり、食育にかかわる取組等についての説明後、学校医の先生方からご指導やご助言をいただきました。

- (重点化していること)
- ・校内及び登下校時を含めた怪我の減少のために分析を行い未然防止の対策や指導を行う。
- ・体力づくりについては、特に握力アップを図る。
- ・広島市平均と比べると残菜が多い。取組月間等を設けて意欲付けを行う。
- (ご助言いただいたこと)
- ・給食後の歯磨きに取り組んでほしい。
- ・子どもが発する SOS に親と学校が気軽に相談できる関係を大切にしてほしい。

### ☆☆お知らせ☆☆

この度、眼科医の小野先生、歯科医の野村先生がそのご功績により表彰されました。おめでとうございます。

## 夏の点描 in 矢野南小

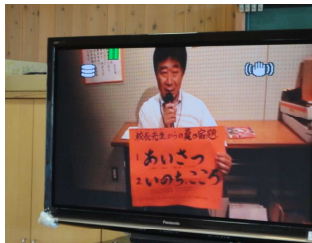
### 平和への願いをこめて (全校平和集会7/11 & 平和のつどい8/6)



全校平和集会では、4年生や6年生の発表を聞いたり、平和への願いを込めて折った各学年の折り鶴を全校でまとめたりしました。4年生の発表では、「みて！みて！平和のでっかい絵」に込めた願い「笑顔をひとつに 心をひとつに」に心を寄せ、6年生の石井里奈さんのピースメッセージからは、原爆の悲惨さを知り、自分達にできることについて考えていかなければという気持ちを持つことができました。



平和のつどいでは、8時15分に黙祷を捧げた後、校長先生のお話を聞きました。「『じぶんのいのちのところも なかまのいのちのところもたいせつに』の宿題はできていますか？」という校長先生からの問いかけに、きつだれもが自分を見つめ直したことでしよう。「平和ってどんなこと？」まずは、自分たちの身近なところから築いていってほしいと思います。



### トライステーション(8/1) & プール開放事業

インストラクターの大宮さんの指導のもと、水泳の基本を教わりました。水を甘く見ないで水に親しむことを体得できたようです。



また、18日間開催したプール開放も事故なく無事終了しました。大勢の子どもが参加し、楽しんでいました。猛暑の中のプール当番ありがとうございました。

### 自己ベストにチャレンジ！！

ビッグウエーブで開かれた「広島市小学校児童水泳記録会」(8/4)に本校からも6年生6名、5年生4名が参加しました。大きく深いプール、大勢の観衆にもかかわらず、見事に自分の力を出し切りました。やり終えた表情がとても印象的でした。



### 子どもたちの「わかった・できた」を目指して！！

校内での研修や他の研修会場へ出向いて、先生たちも日々努力！「わかった



・できた」喜びを味わわせたいと願って。

### 地域行事にプラス1の参加

毎年、青少協主催で行われる「ソーメン流し」(7/8)に、なんと5・6年生の児童からボランティアをさせてほしいとの声が寄せられたそうです。「みんな来ん祭」(8/25)でも、翌日の片づけで頑張る6年生の児童に感心したというお言葉をいただきました。

また、「サマーフェスティバル in やの」(7/28)にも矢野南小から初参加！4年生の有志26名が舞台バージョンの「はねこ」を披露しました。地域へのプラス1の参加を嬉しく思います。



### 「自然との共生」へ向けての第2ステップ

4月から進めている中庭、冒険の森、秘密の花園等の整備や先日の環境整備作業のおかげでよいよ第2段階へ。第2段階は、どんな共生が可能なのか、そのためのルールは？など児童の声も取り入れながら進めていきます。サブグラウンドについては、教育委員会(施設課)に尋ねたところ、児童数の推移予測から中学校建設はないとのこと。今後も生活科などで活用するとともに校庭開放委員会を通して社会スポーツの場として提供していきます。

